

| | | | |
|-------|--------|-------|---------------------------------|
| 市区町村名 | 広島県福山市 | 担当部署 | 総務局総務部 I C T 推進課 |
| | | 電話番号 | 0 8 4 - 9 2 8 - 1 0 1 1 |
| | | 所属メール | ict-suishin@city.fukuyama.lg.jp |

1 取組事例名

もし地方公務員の若手主事が「PMBOK」を読んだら

2 取組期間

2022 年度～（継続中）

3 取組概要

事業を効率的・効果的に推進するため、プロジェクトマネジメントスキルの習得を促進していくとともに、プロセス・スケジュールの見える化や情報共有・報告業務等のコミュニケーションなど、プロジェクトを円滑に遂行できるプロジェクト管理ツール（asana）を導入することで、プロジェクトマネジメントを前提とした働き方を推進していくものです。

4 背景・目的

現在の業務の進め方は、各部署や担当者により異なるため、成果の質にばらつきがあります。

また、関係者への情報共有や進捗報告の調整作業等に時間を要している状況も見受けられます。

今後も、急速に変化する社会環境や多様化する市民ニーズへ対応するため、これまで以上に、効率的・効果的に事業を進め、市民サービスの質を向上させていく必要があります。

そのためには、全職員共通の「考え方＝プロジェクトマネジメント」が必要となり、それを全庁的に実践するツールを導入・運用するものです。

5 取組の具体的内容

②課題

- ・限られた職員数で、より効率的に進める必要がある
- ・事業の進め方について全職員共通の考え方が必要

①現状

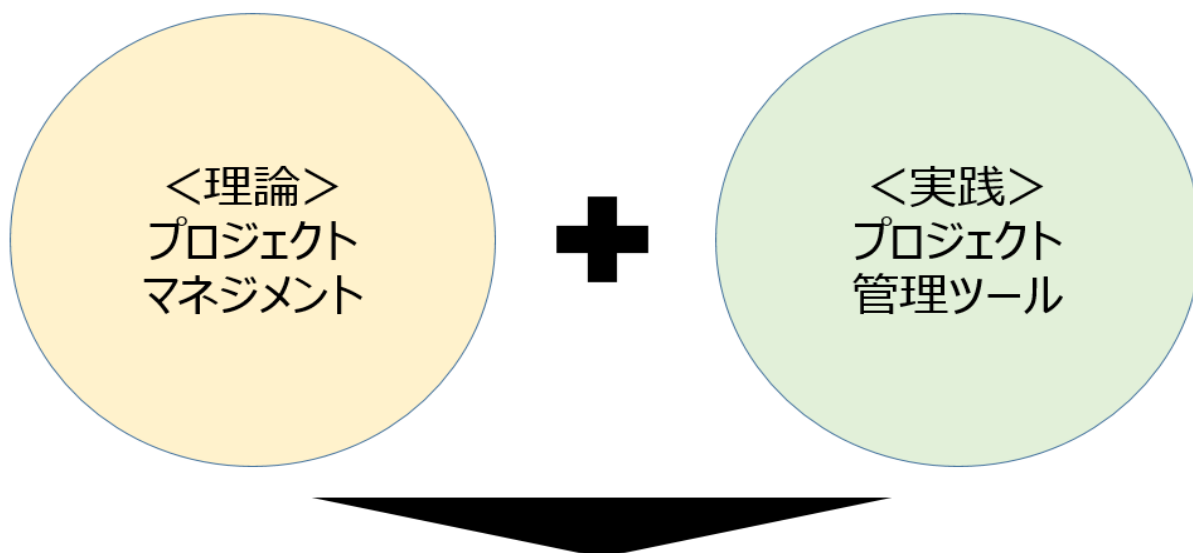
- ・事業の種類や量が増加
- ・事業の進め方や成果の質にばらつき
- ・情報共有や進捗報告等の調整に時間を要している

めざす姿

- ・事業価値を高める
- ・事業を効率的に推進する

③解決策

- ・プロジェクトマネジメントの導入（理論）
- ・プロジェクト管理ツールの活用（実践）



両輪で変革を推進

プロジェクトマネジメントとプロジェクト管理ツール（asana）を導入することで、大きくは次の効果を狙っています。

① 事業の高度化・スピード化

様々な関係者との「連携」を円滑にするため、複雑な事業を体系化し俯瞰することで、事業が高度化され、その実施スピードが上がる。

② 情報の一元化による業務の効率化

情報の一元化により、電話や会議時間が削減されるなど、人的リソースを効率的に活用できる（時間外勤務の減少）。

③ 職員の働き方改革

業務執行状況及び職員一人ひとりの勤務状況が可視化され、業務の平準化につながる。

④ 行政サービスの向上

上記で生まれた人的・財政的リソースを多種多様な市民ニーズに応えるために有効活用できる。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

・【独自性】

スピード感を持った変革とするため、ツール導入とプロジェクトマネジメント研修を同時並行で取り組んでいる。

・【新規性】

組織全体で SaaS ツールを使い、業務管理をしている。

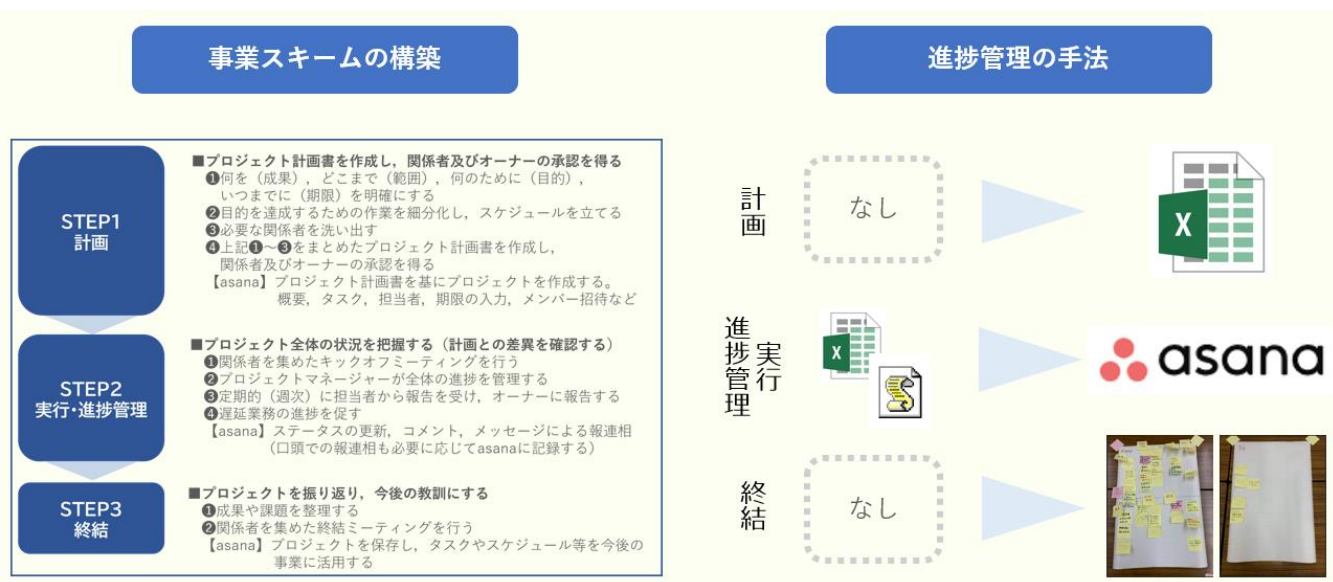
・【工夫した点】

プロジェクトマネジメントに見識のある外部人材を登用し、行政版プロジェクトマネジメント理論の構築に取り組んでいる。

7 取組の効果・費用

【これまでの効果】

- 1 「計画」「実行・進捗管理」「終結」の3ステップの事業スキームを各業務に適用
- 2 進捗管理手法の統一化



【今後見込まれる効果（長期的）】

- 1 行政サービスの質の向上
- 2 時間外勤務時間の減少
- 3 多様なニーズに応えられるリテラシーの向上

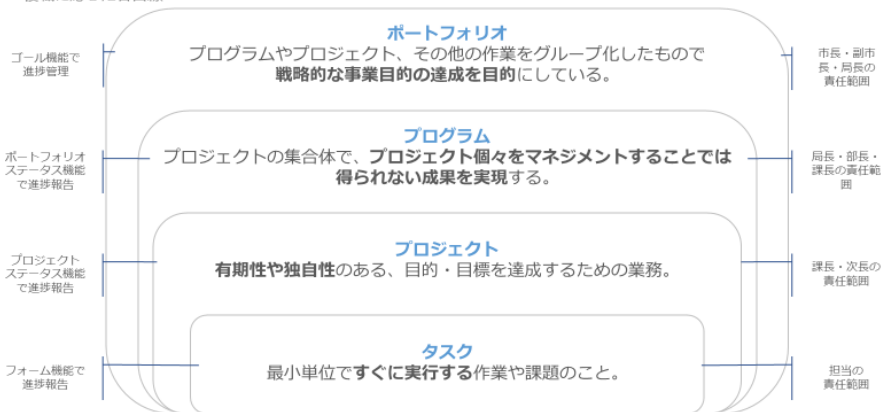
8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・課題・目標設定やWBS等、計画時点でロジックが成り立っていない。
 - ⇒ 現状分析から課題、解決策等の設定や目標指標などの研修を行う予定
- ・「ツールの目的化」が主目的になっている。
 - ⇒ 本来の目的や取り組む意義など、研修や社内発信、立ち話の中で誤った認識を解き、取り組みの原点に戻している。
- ・用語の理解が難しい（特にカタカナ用語）。
 - ⇒ 絵や映像を駆使し、言語とイメージの共有化を図っている。
- ・古き良き文化への固執がある。
 - ⇒ 「昔」ではなく「今」や「未来」に目を向けてもらうよう説いている。

9 今後の予定・構想

福山市の取り組みと目指す姿

～役職に応じた各自線～



- ・全ての役職において、それぞれの責任範囲の中で確実に業務を遂行する仕組みを構築することを目指す。
- ・行政版プロジェクトマネジメント理論の構築や全職員がツールを利用できる環境の整備を進めていく。

10 他団体へのアドバイス

- ・行政が今まで培ってこなかった事業管理スキル「プロジェクトマネジメント」を定着させるには、先導する絶対的リーダーの元、「今までの文化を壊す勇氣」「組織文化を作り直すモチベーション」が必要
- ・目的が「手段」とならないために、組織全体での課題共有や議論があれば、取り組みやすい体制が構築されられると思われる。

11 取組について記載したホームページ

行政版デジタル化実行計画（第1.2版）に個別事業として概要を記載

<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/ict/299493.html>

また、asana 社及び東洋経済オンラインの取材記事あり。

<https://asana.com/ja/case-study/fukuyama-city>

<https://toyokeizai.net/articles/-/668108>